新潟県
ライフサポートセンターニュース

2026年10月22日　第21号

発行元 新潟県ライフサポートセンター
長岡市愛宕3丁目7-24
TEL 0258-86-8898
メール nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp

ライフサポート交流で「お悩み」交流

9月7日浦和市のときわ会館で「東部ブロックライフサポート事業経験交流」が開催され、11地区31名が参加した。

最初に、「親が悪い、だけじゃない　虐待経験者たちのTERA　VOICE」と題して山本昌子氏（ボランティア団体ACHAプロジェクト代表）より講演がありました。本人が経験した両親からの虐待の話や乳児園や児童施設での生活、保育士資格取得のためバイトをしながらの専門学校や、施設を出た後の自分の居場所や活動など、自分にかかわってくれた人たちへの感謝や、経済的な理由で振袖が着られない人への振袖姿の撮影活動や居場所活動、ユーチューブ番組「THREE FLAGS・希望の狼煙」を通しての情報発信活動などいろんな活動を展開しています。今後もその都度必要とされることに対して新しい活動を展開していきたいと今後の抱負が語られました。

交流会では11地区から事業についての活動紹介がありました。ライフサポート事業PRや相談の受付体制、相談員の配置、相談事例など各地域の活動を出し合いました。新潟からはひきこもりの対応を含め現状の活動を紹介しました。その中で、多くの地域で相談件数の減少が報告されました。原因としてAIに相談していることが考えられることや相談件数を増やすためチラシ配布などPRに工夫が必要との意見も出されました。地域ごとの活動の濃淡はあるものの、課題として相談員のなり手がないこと、拠点数の減少や経費の問題など抱えているなど課題が多いと感じました。今後の活動に参考となる交流会となりました。

相談員　S　M

実りの秋となりうるか



令和の米騒動から1年以上たつが、この間お米に関連した相談は無かったと思う。今年から農業法人にかかわることとなった。春の播種、育苗、田植え、草刈り、そして稲刈り。法人の作業メンバーは、平均年齢75才超えの高齢者達、あと何年持ちこたえられるのだろうか？

日本の基幹的農業従事者の数は2000年の240万から2025年には103万、56.8％減少。平均年齢67.7、65才以上が69.6％を占めている。25年間に32.7万人減（年間6.5万人減）と年々減少している。このペースでいくと10年後には半減、わが地域の農地の半分は耕作放棄地、原野化してしまうのではなかろうか。

最近、米価の報道が目に付く。新米価格が2千円台後半で昨年産はそれより若干安く出回っているようだ。そもそも昨年の米価は異常ともいえるものであった。今年の全農新潟概算金（JAが集荷時に米代金の一部を生産者に前払いする仕組み。販売額が前払い分を上回れば追加払いが出るもの。最終的な確定は1年後くらいかかる。概算金からは、JA手数料が引かれる）は、一般コシヒカリで18500円（昨年当初30000円、約38％安い）。法人では、令和の米騒動ともわれた昨年、何とかコストを回収できた。しかし、今年は一転、コスト回収できないことを危惧している。

令和8年4月1日、食料システム法が施行され、同月7日に公益社団法人米穀安定供給確保支援機構から、米のコスト指標が公表された。それによれば、玄米60kg2万535円、精米5kg2816円。これはコストの積み上げで利潤を含まないもの。

9月、主力のコシヒカリや新之助の収穫時期を迎えているが、長雨で倒伏している。なんとか、コストを回収し次の担い手に橋渡ししたいものだ。

相談員　M　K

疑問？の残る相談



電話で相談がありました。「会社を辞めようかと思っています・・・」しばらく沈黙していたので、会社を辞めたいけどやめられないという相談かと考えました。事務所に来て話がしたいということで面談を希望されました。早速事務所に来てもらったのですが、病気でやめる覚悟はしており、会社を辞めたいという相談は雑談的に終わりました。相談はそこで終わりかと思ったのですが、実は借金の相談もあるのですということで相談が始まりました。

相談者の方は40代後半の方でしたが、家族5人暮らしで、妻、子供が3人ということでした。借金の状況を聞いたら、クレジット会社や銀行に600万、家のローンが900万残っているということでした。クレジット会社の借金については妻には話をしていないということでしたが、なぜ妻に話せないのか疑問が残り、ギャンブルなどで使ったのかと聞いたのですが、生活費での借金だと話されました。本当かどうかはわかりません。相談者の収入は月収で手取り30万円程度なのですが、借金やローンの返済で27万円ほど払っているということでした。生活費、子供の教育費はどうしているのか聞いたところ、ボーナスや妻の収入で何とかしているということでした。妻の収入は夫より多いとのことでした。

会社を辞めて、さらにここまで借金の額が多いと、ちょっと返すのは無理だと考え、自己破産、任意整理なども含めて弁護士相談に繋げるのがいいと考え提携弁護士に繋げました。

相談者は離婚も考えているようでしたが、借金の額が多いこと、妻と相談をしてないこと、大きな疑問の残る相談でした。相談を受けてただ**「厳しい！なんで？」**の一言です。

相談員　Ｔ　Ｋ



ＡＩは？味方なのか敵なのか

最近のニュースなどを聞いていると、人工知能のＡＩが、今、様々な問題を引き起こしているようです。自分の頭を使わないで、コンピューターが回答してくれる便利な物というイメージ（イラストのお願いやらポスターのお願い、旅行日程の作成、新聞の作成）といったありがたい話ではなく、ＡＩが勝手に暴走し、ＡＩ同士で助け合ったりして、人間の手に負えなくなっているようです。詳細は良く分かりませんが、最近の連日報道されているサイバー攻撃など、まさに「恐るべし」という状況と言ってもいいような気がします。ＳＦ映画の世界が現実に起きつつあるのだろうと思います。

一例として、ライフサポートセンターに時々来る相談をチャットＧＰＴに入力してみようと思います。「私は45歳で家族４人で暮らしています。妻はパートで、子供二人はまだ中学生です。家のローンが一千万円残っていますが、会社では上司から営業成績のことを言われ、うつ病の診断が出ています。退職すべきかどうか教えてください」と記入したら・・・

「この方の場合、今すぐ退職すると決めるのではなく、まず病気の回復を優先し、休職や傷病手当金などを利用しながら、退職するかどうかを判断することをお勧めします。45歳で、奥様はパート勤務、中学生のお子さんが2人、住宅ローンが一千万円残っているとなれば、仕事を辞めた後の生活費や教育費が大きな心配になると思います。一方で、うつ病と診断されるほど心身に負担がかかっているのであれば、無理をして働き続けることにも注意が必要です。大切なのは、仕事を続けることだけを目標にせず、健康と家族の生活の両方を守れる方法を探すことです。」

みなさんはこの返答をどう思われますか？

相談員　ＡＭ